

自動点滅タイマー（週間タイプ）EEU-WM1, WM2, WM2S 共通

このたびは、河村の「自動点滅タイマー」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

安全上のご注意

- 据え付け、使用、保守、点検の前に必ずこの取扱説明書をすべて熟読され、製品の知識、安全の情報、そして注意事項のすべてについて習熟してから正しくご使用してください。また、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。
- この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。
- 危険**：取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。
 - 注意**：取り扱いを誤った場合に危険な状況が起こりえて、中程度の障害や軽傷を受ける可能性が想定される場合、および物的損害だけの発生が想定される場合。
- なお、「注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

施工前に

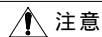
- 丁寧に開梱し、次の点をお確かめください。
- 仕様をご要求のものと同じであるかを銘板によりお確かめください。
 - 輸送中の事故などにより、製品が破損していないかをお確かめください。
 - 開梱した時、水濡れがないことを確認された後に、ご使用してください。

施工上の危険



- (1) 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されています。
- (2) 活線工事はおやめください。短絡による故障、焼損、火災または接触による感電、火傷の原因となります。

施工上の注意



- (1) 次のような場所へは取り付けしないでください。誤動作・寿命低下につながります。
 周囲温度が -10 ~ 50 の範囲を超える場所
 湿気が多い場所
 振動、衝撃、磁気強い場所
 油、水滴、雨、日光が直接あたる場所
 埃、粉塵、塩分、油煙、腐食性ガスが多い場所
- (2) 施工時に、ゴミ、コンクリート粉、鉄粉などの異物が製品内部に入らないようにしてください。
- (3) 端子台のねじの締め付けは確実に行ってください。発熱、故障の原因となります。
- (4) 端子台以外のねじは外さないでください。故障の原因となります。
- (5) 施工後は必ず端子カバーおよび操作カバーを取り付けてください。

施工工事業者様へお願い

施工終了後は、下記の連絡先にご記入後、この取扱説明書を需要家様へお渡しください。

連絡先	
施工工事業者名	施工年月日
	年 月 日
TEL /	()

使用上の危険



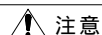
- (1) 濡れた手では触れないでください。感電の恐れがあります。
- (2) 端子台および端子台のねじには触れないでください。感電の恐れがあります。

保守・点検上の危険



- (1) 有資格者以外の方の電気工事は法律で禁止されています。
- (2) 異常（発熱、におい、煙など）がありましたら直ちに使用を中止し、施工工事業者へ連絡して点検をしてください。

保守・点検上の注意

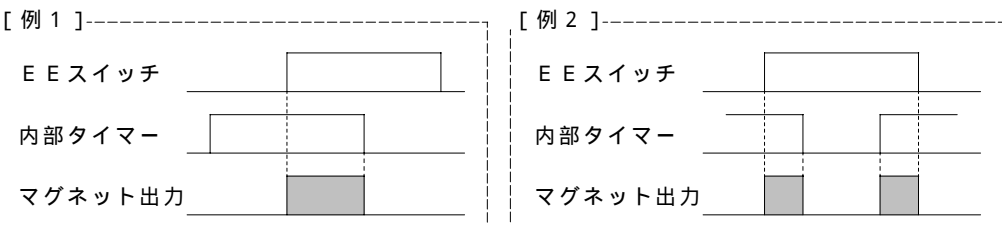


- (1) 清掃は柔らかい布で乾拭きしてください。ガソリン、ベンジン、シンナーなどは製品を傷めますので使用しないでください。
- (2) 端子台のねじは定期的に増し締めを行ってください。なお、増し締めは電気工事業者などの有資格者により正しく実施してください。

1. 機能

この自動点滅タイマーは、自動点滅器（EEスイッチ）を接続する端子を備え、接続したEEスイッチと内部のタイマーにより負荷のON-OFF制御ができる製品です。曜日ごとに（A・B・切）の中からパターンを選択できる週間制御タイプで、回路試験用のスナップスイッチを備え、負荷の強制的なON-OFF制御も可能です。

《基本動作》
 EEスイッチと内部タイマーの組み合わせにより負荷を制御するため、【例1】【例2】のように両方の機能がONの時のみ出力がONとなります。

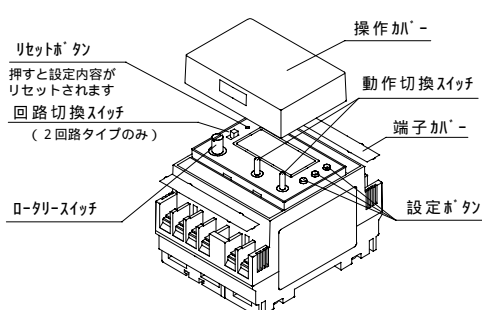


2. 品 種

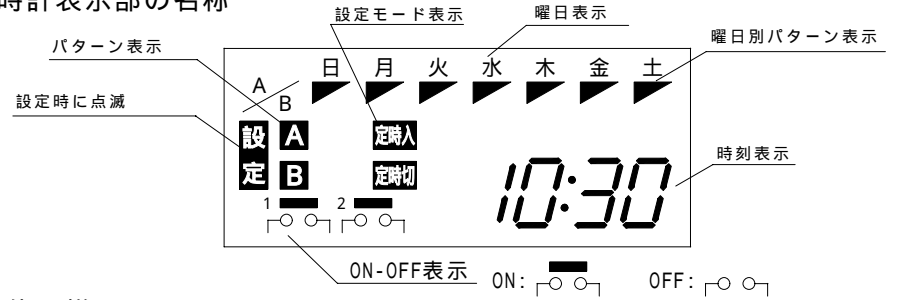
品名	回路数	品番	機能
自動点滅タイマー（週間）	1回路タイプ	EEU-WM1	回路1 外付けEEスイッチと内部タイマーによる定時制御
		EEU-WM2	回路1 外付けEEスイッチと内部タイマー1による定時制御 回路2 外付けEEスイッチと内部タイマー2による定時制御
	2回路タイプ	EEU-WM2S	回路1 内部タイマー1のみによる定時制御 回路2 外付けEEスイッチと内部タイマー2による定時制御

3. 各部の名称と操作（端子カバーはこの製品を単体で購入された時のみ付属されています。）

- 回路切換スイッチ（2回路タイプのみ）
 ……設定時に回路1と回路2を切換えます。
- ロータリースイッチ
 ……各設定を選択し制御動作を開始させます。
- 設定ボタン
 【切換/曜日】ボタン ……項目、曜日の設定をします。
 【時/+】ボタン ……各設定値を入力します。
 【分/-】ボタン ……各設定値を入力します。



4. 時計表示部の名称



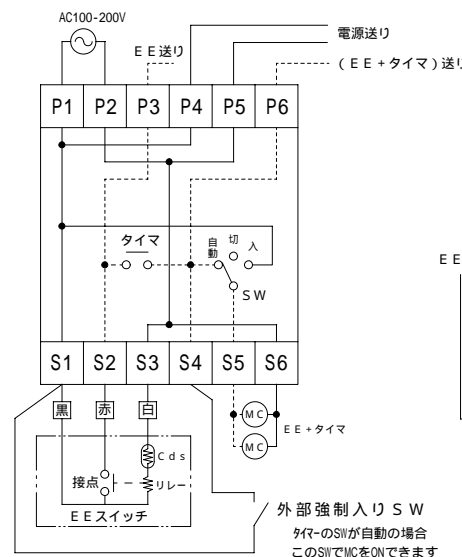
5. 仕様

品 名		自動点滅タイマー（週間）	
品番	EEU-WM1	EEU-WM2, WM2S	
操作電源	AC100-200V	50/60Hz	
出力点数	1	2	
出力形式	有電圧		
出力電圧	操作電圧と同じ		
出力電流	合計 3A（力率=1）		
取付方法 *1	協約型取付・表面ねじ取付・DINレール取付共用		
使用温湿度	-10 ~ 50	85%以下	
重 量	185g	195g	
時計表示部	方式	水晶発振式	
	表示形式	24時間表示	
	プログラム周期	1週間	
	ON-OFF回数	1回/日	
	最小設定単位	1分	
	時計精度	月差 ± 15秒 (25)	
	停電補償	10年	

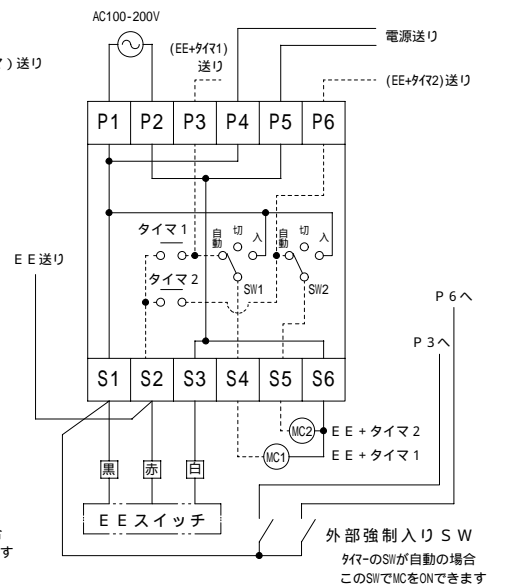
*1: DINレール用フックはオプションです。

6. 接続方法（自動点滅増設器への接続は、増設器の取扱説明書をご覧ください）

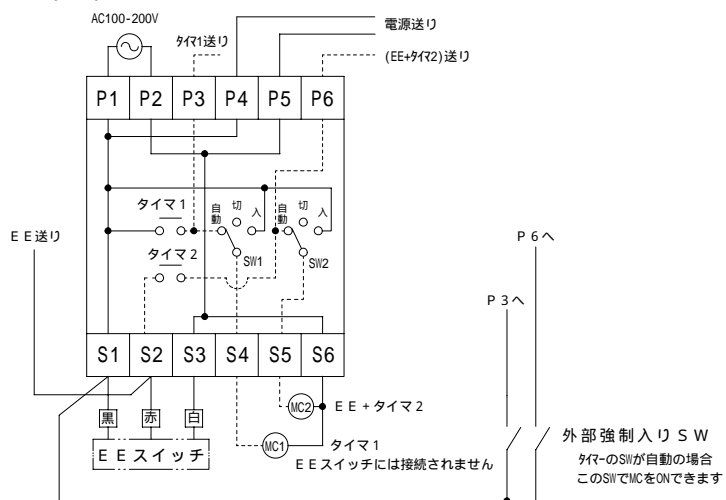
(1) EEU-WM1



(2) EEU-WM2



(3) EEU-WM2S



注意 (1) 1台のタイマーに接続できるMCは、コイルの投入容量の合計が250VA以下です。また、2回路タイプは回路ごとに250VAまで接続できます。

【例】 三菱 S-F20DP (AC100V) …… 5台以下
 三菱 SK65 (AC100V) …… 2台以下
 三菱 SK95 (AC100V) …… 1台以下

ただし、全てのMCの合計投入容量がEEスイッチの接点定格容量を超えないこと。

- (2) 接続するEEスイッチは、本タイマーと同じ電圧のものを使用してください。
- (3) MCごとに試験スイッチが必要な場合は、増設器(EEU-EM/-EMS)をご利用下さい。この場合、接続されたすべてのMCの合計投入容量は500VA以下として下さい。
- (4) EEスイッチを使用せず自動点滅タイマーのみで使用する場合は、端子S1とS2を短絡して下さい。
- (5) 接続するEEスイッチには、感度を調整するタイプのものがあります。動作がおかしい場合は、EEスイッチの感度を調整してお使い下さい。

動作切換スイッチ（EEU-WM1のスイッチは1個です）

- 入
タイマーやEEスイッチの状態にかかわらずマグネットをONします。
- 切
タイマーやEEスイッチの状態にかかわらずマグネットをOFFします。
- 自動
タイマーとEEスイッチでマグネットのON-OFF制御をします。

7. 設定方法

《設定時の注意》

- (1) 動作切換スイッチを【切】にしてから設定を行なってください。
- (2) 「手順1：現在時刻・曜日の設定」では、ロータリースイッチを切替えた瞬間が0秒となりますので、時報と同時にロータリースイッチを切替えてください。
- (3) 定時入・定時切時刻は、必ず設定してください。
- (4) ロータリースイッチは、強く引っ張ったり、押し込んだりしないでください。
- (5) 複数のボタンを押しての設定はしないでください。誤動作の原因となります。
- (6) 時計のコロンが点滅しなくなったり、時刻設定ができなくなった場合は、必ず動作切換スイッチを【切】にした後に、リセットボタンを押してください。
この場合、内部の設定はすべて消去されますので再度設定をやり直してください。
- (7) 2回路タイプの制御動作の設定は、回路1/回路2を別々に設定してください。
- (8) 設定を終了し、運転状態に入る前に時計表示部に右側の「END」が表示されます。
- (9) 運転時は、回路切換スイッチと制御動作は関係がありません。
- (10) 運転時に【分/-】ボタンを押すと、秒の確認ができます。
- (11) 現在設定されている設定値は、ロータリースイッチを切替えるごとに表示されます。
また、2回路タイプの場合、回路切換スイッチで回路を切替えて確認してください。
- (12) 動作切換スイッチの位置(入/切/自動)と液晶の時計表示部のON/OFF表示は一致しません。

End

設定手順 (設定モードになると、時計表示部の【設定】が点滅します。)

手順1 現在時刻・曜日の設定

ロータリースイッチを **1** に合わせます。

回路切換スイッチは、回路1/回路2のどちらでも可

● 曜日を設定
● 時を設定
● 分を設定

初期値：不定

手順4 曜日別制御パターン

ロータリースイッチを **9** に合わせます。

2回路タイプは回路ごとに設定

● 曜日切換
● A・B・切を設定

初期値：全曜日Aパターン

手順2 Aパターン定時入・切時刻設定

ロータリースイッチを **5** に合わせます。

2回路タイプは回路ごとに設定

定時入時刻設定

● 切換ボタン
● 時を設定
● 分を設定

初期値：0:00

↑ ↓ 切換ボタンを押す

定時切時刻設定

● 切換ボタン
● 時を設定
● 分を設定

初期値：0:00

手順5 運転

ロータリースイッチを **0** に合わせます。

回路切換スイッチは、回路1/回路2のどちらでも可

● 設定の文字が消え動作を開始します。

● 設定終了後は、必ずロータリースイッチを **0** にしてください。
● 0以外では動作しません。

ロータリースイッチ 2, 3, 4, 6, 8 では、下図の表示となります。

手順3 Bパターン定時入・切時刻設定

ロータリースイッチを **7** に合わせます。

手順2と同様に設定してください。

《設定記録としてご利用ください》 (年 月 日)

回路1

Aパターン ON/OFF 0時 24時

Bパターン ON/OFF 0時 24時

曜日	日	月	火	水	木	金	土
パターン							

Aパターン 【定時入時刻】... : 【定時切時刻】... :

Bパターン 【定時入時刻】... : 【定時切時刻】... :

回路2

Aパターン ON/OFF 0時 24時

Bパターン ON/OFF 0時 24時

曜日	日	月	火	水	木	金	土
パターン							

Aパターン 【定時入時刻】... : 【定時切時刻】... :

Bパターン 【定時入時刻】... : 【定時切時刻】... :

8. 設定例

EEU-WM2の例 (EEU-WM1は、回路1または回路2の例を参考にしてください)

回路1

Aパターン ON/OFF 日没 1:00 0時

Bパターン ON/OFF 日没 23:00 0時

曜日別パターン

Aパターン 【定時入時刻】... 13:00 1 【定時切時刻】... 1:00

Bパターン 【定時入時刻】... 13:00 1 【定時切時刻】... 23:00 1

曜日別制御パターン... 日 月 火 水 木 金 土

回路2

Aパターン ON/OFF 日没 日出 0時

Bパターン ON/OFF 日没 3:00 0時

曜日別パターン

Aパターン 【定時入時刻】... 13:00 1 【定時切時刻】... 11:00 2

Bパターン 【定時入時刻】... 13:00 1 【定時切時刻】... 3:00 1

曜日別制御パターン... 日 月 火 水 木 金 土

EEU-WM2Sの例

回路1 (タイマー1のみの制御となります)

Aパターン ON/OFF 10:00 23:00 0時 24時

Bパターン ON/OFF 10:00 20:00 0時 24時

曜日別パターン

Aパターン 【定時入時刻】... 10:00 【定時切時刻】... 23:00

Bパターン 【定時入時刻】... 10:00 【定時切時刻】... 20:00

曜日別制御パターン... 日 月 火 水 木 金 土

回路2 (タイマー2とEEスイッチによる制御となります)

Aパターン ON/OFF 3:00 日出 日没 23:00 0時 24時

Bパターン ON/OFF 日没 日出 0時

曜日別パターン

Aパターン 【定時入時刻】... 3:00 【定時切時刻】... 23:00

Bパターン 【定時入時刻】... 13:00 1 【定時切時刻】... 11:00 2

曜日別制御パターン... 日 月 火 水 木 金 土

- 1: 「入」時刻をEEスイッチで制御する場合、【定時入時刻】は日没の時刻より早めに設定してください。
- 2: 「切」時刻をEEスイッチで制御する場合、【定時切時刻】は日出の時刻より遅めに設定してください。

【寸法図】全品種共通寸法 (図はEEU-WM2) 単位(mm)

